

楠原だより

まとめと準備の三学期

令和四年、三学期が始まり早くも二週間が経過します。オミクロン株による感染症の拡大が心配される所です。学校においてもこれまで以上に感染症予防に努めていきます。

三学期の始業式では、まず、新聞の一行広告の中から二つを使って話をしました。一つ目が360。()

という広告です。ある大学の広告です。()の中にどんな言葉が入るか。答えは DREAMS です。複数形になっているので、たくさん夢ということでしょう。おそらく、「あなたの周りにはたくさん夢や希望が広がっている、たくさん夢をもつてほしい」という意味が込められているのではないだろうかということ、子どもたちにはぜひ「こうなりたい」とか「こんなことをしたい」という夢を持ってがんばってほしいと話しました。

二つ目は、その挑戦が()を変えようという広告です。挑戦が一体何を变えるのか。答えは未来です。何かに挑戦することによっていろんなものが変わるでしょうが、これから先の未来。将来も変わるかも知れない、そんな意味が込められていること、そしてみんなもどんどんいろんな事に挑戦していつてほしいと子どもたちには話しま

めざす児童像
思いやりのある子
楽しく学びたい子
たくましい子

それから、三学期は今の学年の「まとめ」をする学期であると同時に「準備」の学期でもあることを話しました。子どもたちに満足感や成就感を味わわせられるように取り組んでいきます。



青少年健全育成意見発表会

今月三十日に、「青少年健全育成意見発表会」が行われる予定でした。本校からは、六年生の濱村悠香さんが代表で発表する予定でしたが、残念ながら、コロナ禍のため、会場に集合しての発表会は取りやめとなり学校で発表の様子を撮影し、それをDVDにまとめることになりました。また、ケーブルテレビでも放送する予定です。せっかくなので、濱村悠香さんの発表内容を紹介します。



「運をつかむには、日頃の行いが大切」
六年 濱村 悠香

この言葉は、私が四年間練習をがんばったソフトボール部の指導者の言葉です。私は三年生からソフトボール部に入部しました。はじめはボールの投げ方や打ち方がよく分からず、上手にできませんでしたが、ルールもよく分かりませんでした。でも、できないことを克服しようと少しずつ努力し、できることを増やしていきました。今では、K3クラブのキャプテンをするまでになりました。

小学校生活最後の今年、私たちはたくさん大会で優勝することができました。毎日の練習はもちろんですが、その優勝には運が必要不可欠だったと思います。試合の結果を左右する場面で、自分たちが運をつかむことができるように意識していたことがありません。それは、あいさつ、返事、礼儀などです。ボールが自分たちに有利に転がるのか、いい当たりが正面をつくのかが、それを左右するのは、あいさつ、返事、礼儀などの基本的な生活習慣です。これらをチーム全体が日頃から意識し、実践していたからこそナイスティ杯という大会では、優勝することができたと思っています。今年、メジャーリーグで活躍した有名な大谷選手は、普段の生活態度が素晴らしいというニュースをよく聞きます。自分からごみ拾いをしたり、礼儀正しいあいさつをきちんとしたり、日頃の行いがよ

いから運も味方するのではないかと思います。みんなに尊敬される大谷選手だからこそ、たくさんさんのホーム

ランを打てたと思います。ソフトボールは団体競技の一つです。自分一人だけが日頃の行いを意識するのではなく、チーム全体で意識することが大切だと思います。私はキャプテンとして、自分からあいさつをしたり、みんなの靴を並べたりしました。しかし、これまでの経験を振り返ると、運は日頃の行いだけでつめるものではないと思います。一人ひとりの強い気持ち、そして努力が大切です。

「努力は裏切らない」
その言葉どおり、努力は絶対裏切りません。私は家でたくさん自主練習をしています。ティーパッチングを一日二百本毎日しています。その練習のおかげで自信を持ってバッターボックスに立ち、たくさんヒットを打てるようになりました。毎日、自主練習を続けるという小さな日々の努力の積み重ねが運をつかむのだと思います。

私の座右の銘は、「点滴穿石(てんてきせんせき)」です。この四字熟語の意味は、小さな水滴でも長く落ち続けると石に穴をあけることができるということです。小さな一歩でも、毎日続けることが大切だと思います。私たちの小さな行動一つでも、日々、あきらめずに努力を続けること、大きなものを動かす第一歩になることができると思ふのです。このソフトボールを通して学んだことをいかして、自分からあいさつをし、礼儀正しい中学生になれるようにがんばっていきま